

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 間質性肺疾患(ILD)が先行した関節リウマチ患者(RA)の臨床像の検討

[当院研究責任者] 部署名 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 山野 泰彦

[研究の背景]

関節リウマチ (Rheumatoid Arthritis, RA) は、約 20-30%の患者で間質性肺疾患 (Interstitial Lung Disease, ILD) を合併することが広く認識されています。また、ILD の合併は予後を左右する重要な因子であると同時に、重篤な合併症であることが明らかになっています。一部の RA 患者では、RA の診断に先立って ILD が確認されるケースが報告されており、このような ILD 先行型の RA 患者群は、RA 発症後に ILD を発症する患者と比較して予後が悪いとの報告があります。このため、ILD 先行型 RA 患者は特に注目される重要なサブグループと考えられています。

[研究の目的]

本研究では、ILD 先行型 RA 患者の臨床的特徴を明確にし、将来的に治療介入のタイミングを探ることを目的としています。これにより、この特異的な患者群に対するより効果的な治療戦略の開発に寄与することを期待しています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2007年4月から2024年2月までに関節リウマチ及び間質性疾患が診断された当院に通院歴のある患者さん

●研究期間：実施許可から2027年12月31日まで

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：年齢、身長、体重、性別、喫煙歴、基礎疾患、呼吸困難の程度、運動耐容能、生活関連 QOL、血液検査 (LDH、KL-6、SP-D、自己抗体等)、6分間歩行試験、動脈血ガス分析、画像検査、病理検査、肺機能検査、気管支鏡検査

●利用する検体、カルテ情報 の管理

カルテ情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院で実施されます。

[個人情報の取扱い]

本研究は後ろ向きの観察研究であり、過去に当院で受診し検査を受けた患者さんの医療記録に基づいてデータの収集及び分析を行います。収集されるデータは厳重に匿名化処理を施し、個人を特定できない形でのみ使用します。このプロセスは、個人情報の保護とプライバシーの尊重を確保するために実施されます。

[問い合わせ先]

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科 山野 泰彦
電話 0561-82-5101 FAX 0561-82-9139